

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第20号—

令和4年9月5日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

「世界には君以外には誰も歩むことのできない唯一の道がある。」

その道はどこに行きつくのか、と問うてはならない。ひたすら進め。」 (ニーチェ)

滋賀県教育委員会では、全国学力・学習状況調査の質問紙で昨年度との比較をしたところ、学習意欲や学習環境面では差があまり見られなかったものの、「将来の夢や目標をもっている」6年生の割合が大幅に減少していたそうです。コロナ禍の社会不安が影響していることが考えられます。

9月1日の始業式で、下記のようなジャパネットたかたの創業者、高田明さんの話をしました。

令和4年9月23日の西九州新幹線の開業に合わせ、現在、長崎駅周辺では大規模な再開発のプロジェクトが進んでいます。その最たるものが、ジャパネットたかたが中心となって進めている「長崎スタジアムシティプロジェクト」です。「ジャパネットたかた」は、平戸市出身の高田明さんが一代で築いた通信販売全国3位の会社です。高田さんは、「スポーツの力で長崎を元気に！」という信念をもち、サッカーJ2の「V・ファーレン長崎」やバスケットボール「長崎ヴェルカ」のチームを運営するとともに、令和6年度の完成を目指してサッカー場とアリーナの建設を主体とする「長崎スタジアムシティプロジェクト」を進めています。高田社長のように夢や志をもち、その夢を実現するとともに、ふるさと平戸・長崎の発展に力を尽くす人になってほしいと願っています。

コロナ禍の中の不安定な今の社会の中で、思い描く将来の夢や希望が現実になるかは誰にも分かりません。しかし、自分の信じた道をひたすらに進むこと、そうすればきっと「願い」が何かしらの形となって表れることを高田さんの生き方から学ぶことができます。子供たちには、夢や希望を失わずもち続け、その夢を叶えて幸せな生き方を歩んでほしいと願っています。

つよし検定を実施しました

子供たちの学力向上を目指し、2日に漢字、5日に計算の「つよし検定」を実施しました。夏休みにしっかりと練習を重ねてきたようで、どの子も良くできていました。努力して「できた喜び」を味わせる取組にしていきます。合格者には『合格証』を発行します。

奉仕作業ありがとうございました

8月31日(水)は、PTAの皆様による環境整備の「奉仕作業」を行っていただきました。お陰様で、校舎や運動場周辺がきれいになりました。夕方のお忙しい時間に関わらず、多くの保護者の皆様に御協力いただき、本当にありがとうございました。

**9月6日(火)は台風接近のため「臨時休業」です。「授業参観・学級懇談会」も中止します。
なお、「オープンスクール・夏休み作品展」は、当初の予定通り、9月9日(金)まで実施します。**